

6月9日（木）

「3年生理数科課題研究発表会」

6月9日(木)に島根県芸術文化センター「グラントワ」にて、3年生理数科課題研究発表会を開催しました。

本校3年生理数科生徒の口頭発表のほかに、出雲農林高校の生徒の皆さんと広島大学、山口大学の大学院生の方々にもお越しいただき、口頭発表をしていただきました。また、大学の先生方や企業の方などに審査員としてお越しいただきました。本校からは2年生理数科の生徒も参加し、保護者の方にもご来場いただきました。

本校3年生にとっては最後の発表会であり、2年生の時から1年以上にわたり続けてきた研究の成果をまとめ、観客に分かりやすく、興味を持ってもらえるように工夫して伝えました。質疑応答も積極的に行われました。審査員の講評では研究への取り組みについて、さらに高いレベルを目指すようにご助言いただきました。

審査の結果は次の通りです。

最優秀賞 「ローダミン B の赤い繭・青い繭」

優秀賞 「フグ毒に対する減毒作用の研究」、「ドンコの色素胞の反応性」、

奨励賞 「粘菌がエサを感知する能力を探る」、「米の可能性」、「よく通る音とは？」  
「第4種のガンガゼ Diadema-sp」

この結果により、8月9日（火）から行われる全国SSH生徒研究発表会に本校代表として参加するチームは、最優秀賞の「ローダミン B の赤い繭・青い繭」に決まりました。

また、本校外よりご参加いただいた方々の発表テーマは次の通りです。

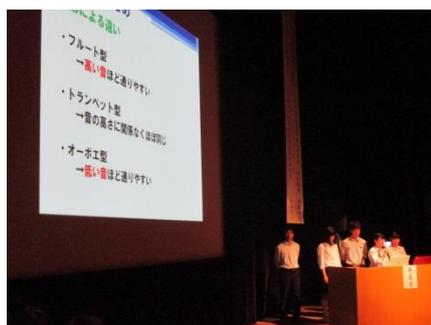
出雲農林高校 「くにびきの地を私達で守ろう～浜ごとハマボウフウで緑化～」

広島大学 荒谷さん 「人工授精由来ブタの親子鑑定」

山口大学 望月さん 「みどりの香り～植物の防衛戦略」

山口大学 大神さん 「ワームホールシャドウ」

同年代の他校の高校生の研究発表や大学院生による高度な研究発表を見ることで、刺激を受け、研究への意欲が高まりました。発表をしていただいた皆様、本当にありがとうございました。



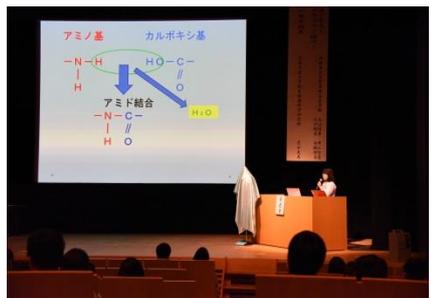
よく通る音とは？



フグ毒に対する減毒作用の研究



負荷と瞬間的な運動能力向上との関係



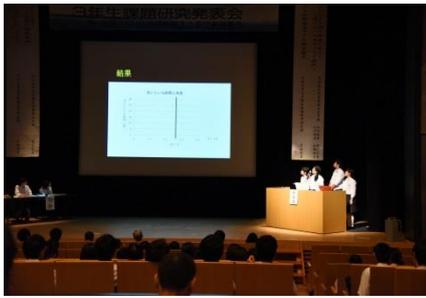
ローダミン B の赤い繭・青い繭



米の可能性



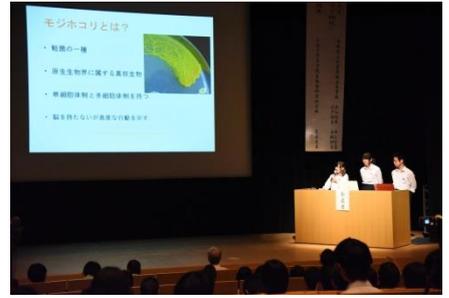
第4種のガンガゼ  
Diadema-sp



磁石を使って物を浮かそう



砂浜で穴を掘るには



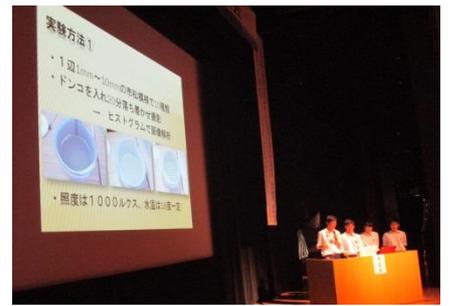
粘菌がエサを感知する能力を探る



チタンアパタイトの実用化に向けて



ツリーハウスに住もう



ドンコの色素胞の反応性



出雲農林高校



広島大学 荒谷さん



山口大学 望月さん



山口大学 大神さん



質疑応答の様子



講評の様子